

# 七尾版地方創生 4本柱で築く 市民協働のまちづくり！

## 地方創生の取り組み

昨年、2月28日には能越自動車道七尾米見道路が全線開通しました。また、3月14日には北陸新幹線が金沢まで開業しました。その効果によって、これまで以上に多くの人たちが七尾市を訪れています。

しかし、七尾市の人口は減少し続けており、歯止めがかかっていません。

現在、国・地方を挙げて人口減少対策と東京への二極集中を是正し、魅力ある地域づくりを進める「地方創生」に取り組んでいます。

このことを受け、七尾市における「地方創生」を推進するため、七尾市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「総合戦略」を昨年10月に策定しました。

## 目指すべき人口ビジョン

人口ビジョンは、人口の現状と将来の姿を示すとともに、今後取り組むべき将来の方向性を提示しています。

環境保全型農業の推進やいきいき七尾魚の販路拡大、地域産業振興と新たな産業の創出、雇用および創業の促進、地域産業の担い手の確保に努めることなどを目標としています。

三つ目は「七尾市への新しい人の流れをつくる」ことです。

和倉温泉を核とした観光資源からスポーツ施設までの、さまざまな地域資源を最大限に活用した交流人口の拡大や移住定住の促進。そして、七尾学や演劇など地域文化の活用拡大を図ることを目標としています。

四つ目は「時代に合った地域をつくり、安全・安心なくらしを守る」ことです。

地域コミュニティの活性化や地域福祉の充実、防災力の向上、生涯を通じた健康づくりなど、自助・共助で促進することと公共施設の最適化により、持続可能な地域づくりを実施することを目標としています。

国の推計値では、平成52年の七尾市の人口は約35,900人ですが、人口ビジョンは約41,000人を目指しています。

残念ながら人口減少が進むことは避けられませんが、こうした中でも市民が幸せや安心を感じられる生活を送るための「総合戦略」を策定しました。

## 総合戦略の目標

総合戦略は、人口ビジョンで掲げた方向性に基づき、平成27年度から平成31年度までの5カ年の具体的な取り組みを示したもので、4つの柱を基本目標に設定しています。

一つ目は「若い世代が結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる」ことです。

医療・福祉や保育環境の充実などによって、結婚、出産する人を増やすことを目標としています。

二つ目は「七尾市にしごとをつくり、安心して働けるようにする」ことです。

## 市民が主役のまちづくりの実現

総合戦略には、少子・高齢社会の進行、転出数が転入数を上回るなど、七尾市が抱える課題を克服するための施策を盛り込んでいます。しかし、その施策の実現にあたっては「市民が主役のまちづくり」を基本に市民、議会および行政の連携、協働の取り組みが必要不可欠であります。

七尾市が将来にわたって能登の中核都市としての役割を果たし、市民一人一人が夢や希望を持ち安全で安心な生活を送ることが七尾市の地方創生につながります。

市民の皆さんが積極的に参加いただくことを願います。

新年も共になげばりましょう。

七尾市長

不嶋 豊和